

宮崎県知事選挙 選挙公報

平成26年12月21日執行
宮崎県選挙管理委員会

ふるさと宮崎のために全力投球 ～共に創ろう宮崎県!!

ひむかプロジェクト 5つの目標!

1. 宮崎の幸福度・医療介護福祉を日本一に ～子ども、若い世代、壮年層、お年寄り、 女性も男性も、みんなに居場所と出番!～

- ◇日本一出産子育てしやすい環境と女性が活躍できる宮崎
- ◇若い人が夢を持って就職し、定住できる宮崎
- ◇子どもからお年寄りまでみんなが元気に生きがいを持って暮らせる宮崎
- ◇災害に強い県土づくりと安全安心な生活が楽しめる宮崎
- ◇人づくり・教育の宮崎

2. 宮崎を日本一の農林水産県に!

- ◇後継者対策、特に宮崎独自の所得保障制度
- ◇強力な販売戦略を柱に6次産業化と流通対策（大消費地から遠い不利を補正）
- ◇農地・水・環境を守る直接支払い制度（特に中山間地域）
- ◇地域を担う経営体の育成と耕作放棄地対策
- ◇漁業経営の安定化（内水面を含め水産資源対策、燃油対策）
- ◇日本一の林業県づくり（流通・川下対策）

3. 新しく伸びる産業の誘致と地場産業の育成!

- ◇空港、高速道、港湾の整備を踏まえた新成長産業の誘致による東九州新時代の実現
- ◇地域を守り、人を大切に作る地場産業の育成
- ◇再生可能エネルギー基地化（木質バイオ、小水力、風力、地熱、太陽光）

4. 世界を視野に、県全体を観光拠点化!

- ◇観光客の流れを変える県内観光地のネットワーク化と他県、外国などとの連携
- ◇宮崎の魅力を外内にアピール。ニーズを踏まえた観光ソフトの開発と定着
- ◇“花とみどり” 全県公園化の推進
- ◇国内外の各種会議・イベントなどの強力な誘致キャンペーン
- ◇天孫降臨の地 高千穂町を中心としたNHK大河ドラマ（古代ロマン）を誘致

**“観光宮崎”
の復活!**

5. 宮崎に新幹線を!“陸の孤島”返上!

- ◇ルートや方式などの調整研究! ◇新幹線が活きる産業など条件整備
- ◇九州中央道、東九州道清武以南、都城志布志道など早期整備!



無所属

かわむら ひでたか 秀三郎

65歳

- 昭和24年 宮崎県綾町生まれ
- 昭和42年 ラサール高校卒業
- 昭和48年 東京大学法学部卒
- 昭和48年 農林省（現農林水産省）入省以降、日本貿易振興会フランス・パリ勤務や、福岡県農政部長への出向を含め畜産局審議官、経営局長、農村振興局長などを歴任
- 平成18年 林野庁長官就任
- 平成19年 宮崎県知事選に立候補し惜敗
- 平成21年 第45回衆議院選挙で初当選以降、予算委員会委員、国土交通委員会理事などを歴任
- 平成24年 国土交通大臣政務官に就任
- 第46回衆議院選挙で再選ならず
- 現在 宮崎市内で妻 壽子と二人暮らし



日本共産党公認

ほった 孝一

<プロフィール>

- ◎1948年生（66歳）
- ◎延岡市出身
- ◎元延岡学園高校教諭
- ◎国民救援会宮崎県本部事務局長
- ◎現党県政対策委員長

政治とカネ

- 腐敗政治の温床となっている、政党助成金の廃止、企業・団体献金の廃止を求め清潔な政治をめざします。

若者が安心して働ける宮崎県を

働く人の非正規雇用三九%。年収二〇〇万円以下の働く貧困層が一一九万人。
非正規労働者の二〇代の既婚率四%、三〇代五・六%。年収三〇〇万円以上では同年代で二五%、四〇%の既婚率。賃金が低すぎると結婚できません。人権問題であるとともに、日本の未来を危うくする問題です。県内でも同じような状況が広がっています。

若者を使いつぶすブラック企業をなくし、ただ働きサービス残業をやめさせ、長時間労働・過労死をなくしましょう。

働く者が、女性が、若者が、胸を張って輝き、人間らしい暮らしができる県政を実現しましょう。

国いいなりでなく 県民の願いが届く県政を

社会保障

- 国保税・介護保険料を引き下げます。
- 子どもの医療費助成制度は中学校卒業まで拡充します。
- 道理のない年金削減、生活保護費の削減に反対します。
- 放課後児童クラブの待機者の解消をはかります。

雇用・くらし

- 消費税10%にきっぱり反対します。
- ブラック企業への規制を県独自でおこないます。
- サービス残業をやめさせ、長時間労働・過労死をなくします。
- カジノ合法化に反対します。
- TPP交渉からの撤退を求めます。

憲法・平和

- 「戦争する国」づくりに反対し、憲法をいかにした県政をすすめます。
- 県内で実施されている陸・海・空での日米共同訓練に反対します。
- オスプレイなどの米軍機の低空飛行訓練中止を求めます。

原発・防災

- 川内原発再稼働に反対します。
- 豊かな自然を生かした再生可能エネルギーの推進をはかります。
- 「南海トラフ大地震」への万全の対策をすすめます。
- 急傾斜危険個所の調査・対策をすすめます。

あなたの願いを **日本共産党 ほった孝一** へ託してください

宮崎県知事選挙

12.21日

投票時間 ▶ 午前7時～午後8時まで（一部投票所を除きます）

期日前投票 12月5日(金)～20日(土)

12月13日(土)までは、衆議院議員総選挙の期日前投票もできます。

宮崎県選挙管理委員会・明るい選挙宮崎県推進協議会

ともに築こう みやざき新時代!

「くらしの豊かさ日本一の宮崎」=「いいね!宮崎」を目指して

この4年間で、口蹄疫からの再生・復興が進み、フードビジネスなど成長産業の育成、東九州自動車道の整備、新たな国際定期便の開設等、本県のさらなる発展に向けた様々な胎動が感じられるようになりました。

県民の皆様とともに、活力にあふれ、国内外に開かれた「みやざき新時代」を築き、その先に「くらしの豊かさ日本一の宮崎」を実現することをお約束して、全力で取り組んでまいります。

各分野が連携して進める4つの重点政策

人口減少社会に向けた宮崎からの挑戦

- 人口問題を解決するため、「少子化からの脱却」、「社会的人口減少の抑制」、「中山間地域の振興」に取り組みます。
- 仕事と家庭の両立宣言企業1000社
- 合計特殊出生率1.8以上（将来的に2.07以上へ）
- 学びの場や雇用の確保・創出
- 4年間で移住1000世帯
- きらり輝く中山間地域の振興

くらしの豊かさ日本一への挑戦

- 豊かな自然や農林水産物、人や地域の絆など、宮崎が育んできた大切な資源を活かし、宮崎らしい「真に豊かなくらし」を実現します。
- 豊かさの指標化
- 河川、海岸等を含めた新たな県土美化条例の制定
- 地域内の資源やお金が循環する地域経済循環システムの推進
- 女性や高齢者が活躍して輝く社会の推進

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした有形無形の財産づくり

- 宮崎らしい東京大会への貢献を目指し、「みやざき流おもてなし文化」を磨き上げ、国内外にアピールします。
- 事前合宿や観光受入れ等の環境整備
- みやざき流おもてなし文化の確立
- 神楽や西都原古墳群などの「世界遺産」登録を目指す。

防災・危機管理能力の強化と将来に向けた社会基盤づくり

- あらゆる危機事象に対応できる絆社会の実現を図るとともに、社会基盤の整備を進めます。
- ハード・ソフト両面から総合的な防災力強化
- 消防団や防災士等の支援、地域防災の充実
- 東九州自動車道の県南区間や九州中央自動車道、都城志布志道路等の整備促進
- 東九州新幹線への取組

分野ごとの3つの重点政策

人財づくり

- グローバル人材やイノベーション人財の育成
- みやざきビジネスアカデミー(MBA)の創設
- 産業人材の育成確保
- 宮崎から東京オリンピック・パラリンピック代表選手、メダリストを
- 2週目の国民体育大会の招致

産業・雇用づくり

- 農林水産業の成長産業化
- 全国和牛能力共進会の3連覇
- フードビジネスを中核産業へ
- 地域中核企業の育成
- 新規企業立地100件、5000人の雇用創出
- 宮崎の観光を再興
- 「みやざきグローバル戦略」の展開

豊かなくらしづくり

- 「健康長寿日本一」へ
- 医療・介護等を一体提供する地域包括ケアシステムの構築
- 自助、共助、公助による絆社会づくり
- 地域医療の充実
- 芸術・文化、スポーツの振興
- 広い意味での地産地消の推進
- 環境にやさしい宮崎づくり

- 政治 1 「明確なビジョン」と「実行力」 2 「挑戦」と「決断」
- 姿勢 3 「徹底した現場主義」と「対話と協働」 4 「責任」と「クリーン」

詳細はホームページをご覧ください >> <http://www.kouno-shunji.com/>



こうの 河野 しゅんじ

- ◇昭和63年3月 東京大学法学部卒業
- ◇昭和63年4月 自治省（現総務省）入省
- ◇平成17年4月 宮崎県総務部長
- ◇平成19年2月 宮崎県副知事
- ◇平成23年1月 宮崎県知事就任

